

2024年度

S B

## 小 論 文

3月12日(火) 人文社会科学部 (言語文化学科) 10:00~11:30  
【後期日程】

### 注 意 事 項

#### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

#### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、2ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあける。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「つ」「や」「ゆ」「よ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

#### 試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章は心理学者・飯村周平の随筆文である。これを読み、あとの設問に答えなさい。

著作権の関係上、公表し  
ません。

〔出典〕『群像』二〇二三年六月号より

問一 傍線部について、「ラベルが先、人間が後」とはどういうことか、本文に即して説明しなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)

問二 「ラベル」を介して物事を理解することによって取りこぼされるものにはどのようなものがあるか。あなたの考えを具体的に説明しなさい(四〇〇字以内)。(配点五〇%)

## 採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文（後期日程試験：令和 6 年度）	問題番号	SB
対象学部・ 学科（課程）等	人文社会科学部（言語文化学科）		
出題のねらい	<p>問一では筆者が「ラベル」をどのように用い、それと「人間」の関係についてどのように考えているかを課題文から読み取ることができるか問い、より厳密な意味での読解力を測ることをねらいとしている。問二では同じく課題文での「ラベル」の意味を正しく把握できているかによって読解力を測ると共に、それを前提に言語と認識、思考の関係について自分で考える力を持っているか、そのために必要な問題意識を普段から持っているか、そしてそれをしっかりと表現できる文章力を持っているかを測ることをねらいとしている。</p>		
採点基準	<p>問一 配点 50%（150 点） 問二 配点 50%（150 点）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題文の内容を理解した上で、その内容から大きく逸脱することなく、自身の考えや経験を十分に表現しているか。</li> <li>・ 指定した字数通りに書かれているか（字数を大幅に超えていないか、あるいは字数が極端に少なくなっていないか）。</li> <li>・ 「注意事項」の解答用紙の記入に関する留意点を守っているか。</li> <li>・ 文の組み立て方が文法的に整っているか。</li> <li>・ 誤字や脱字、送り仮名の間違いなどがいないか。</li> <li>・ 文章全体に整合性があるか。</li> </ul>		